



ERFC Newsletter

ユーノスロードスターファンクラブ通信 2009 vol.3

ERFC 清里ミーティング報告号

清里ミーティングへのご参加
ありがとうございました！

Roadster **20**th
Anniversary



今年もたくさんの方に支えられながら、20回目の記念すべき清里ミーティングを無事に終えることができました。毎年お会いする方、初めての方、そして久しぶりにお会いする懐かしい方も多くいらっしゃって、20周年ということもあってか今年はいつよりも少しだけにぎやかだったような気がします。メインホールにはいままでの記念Tシャツをずらっと並べ、みなさんからも持ち寄っていただいた20年間の思い出を展示したり、午後の駐車場ではゲストの福田さんまで巻き込んだ謀略によって伝説の“自慢ツアー”が復活したりと、「いつもと変わらず」なんていいながらちょっとだけトクベツな雰囲気になったんじゃないでしょうか。

ぼくも、参加されたみなさんと昔話をしたりなんかして、この20年間にあったことをいろいろと思い出しました。これから先もずっと同じように集まることができるのかわかりませんが、25年、30年目を迎えたときにまたこうしてきょうのことを思い出せたらいいですね。とはいえそんな先のことはまた考えるとして、次回みなさんにお会いすることを楽しみにしています。

(ERFC 会長：ひでまる)

さて例年通り、ここからはスタッフによるイベント報告とごあいさつをお送りします。
まずはメイン企画であるトークセッションやご協力いただいたショップの皆様の話から。

□ロードスター誕生 20 周年の節目である今年、お招きするゲストも悩みに悩み抜きました。ここ数年、最新の NC ロードスターについてお話をしていただいたので今年は原点回帰。初代ロードスターの黎明期について改めて語っていただくべく、毎年参加者としてお越しにいただいている元マツダ(株) 取締役デザイン本部長の福田成徳さん、そして同じく元マツダ(株)デザイン本部主任 竹井久司さんに改めてお話していただきました。

お話の中心は「J58G」という開発コードがつく正式プロジェクトが始まるよりも前のいわゆる「オフライン GOGO」時代に絞って当時の写真を交えながら回顧録的に解説していただきました。

また、新しい試みのイレギュラーゲストとして、マツダ車の広告宣伝事業を手がけていた元アドインターナショナルの佐藤さんをお招きしました。おもにユーノス発足当時の広告宣伝事業について語っていただいたことで、開発側からだけではない一歩外側からの視点でたいへん興味深いお話を伺うことができました。



今年お越しにいただいたショップさんでは、ナカマエ製作の中前さんご夫妻、ディーテックの出来さん。特に出来さんはRCOJの会報誌での報告があるように、アメリカのフォーミュラレース「スターマツダ」に参戦されているのですが、清里 MTG の前日にちょうど一時帰国したばかりのタイミングでした。大変忙しくお疲れであるにも関わらず、イベント前日の準備中にご連絡をいただき、急遽参加していただける運びとなりました。

また、残念ながらイベントにはご都合により参加を見送られたアムコジャパンの丹羽さんですが、多くの協賛品のご提供をしていただきました。

ロードスター誕生 20 年と同時に清里 MTG が 20 回、20 年目を無事迎えられたのも参加者さんをはじめショップの皆様、そしてマツダ関係者の方々など、多くの方に支えられているからだ実感しています。ご存知の通り自動車業界の今は「これまでの 100 年」から、「これからの 100 年」に向かうべく、激変期を迎える大変難しい時期に差し掛かっている真っ最中。しかし、クルマというツールを通して、こうした人と人が結びついた大事なイベントは未来永劫？不変だと思っています。

今後もしできる限り続けられるのであれば、続けていきたいな…と改めて思った 20 周年でした。

(渉外+ショップ担当 たかね)

『何でも展覧会』 ～今年は例年にも増して力作ぞろいで嬉しい悲鳴！！～

今ではすっかり清里ミーティング名物になりました「何でも展覧会」は、もともとフォトコンに端を発するイベントでした。特に今のメインホールでも何か企画を・・・と考えた時、参加者のみなさまも気軽に参加できて、アピールできる物ということでやってみようという形になったわけです。

その後、何度か模型コンテストと併催していましたが、やはりプラモ限定では出品を集めるのに無理があるし、フォトコンも毎回数が揃うわけでもないの、両者を合体して「何でもコンテスト」という形に落ち着きました。しかしまあ、当時を知る人には言うまでもありませんが、コンテスト形式ですと出品者が常連組だけになっていたことに加えて、数も少ないという状況下では賞品を持っていく人が限られてしまうとい弊害もありました。

そこで、コンテスト形式を改めて、ロードスターに思いいれのある品々を参加してくれた人に見てもらおう、アピールしてみよう。その上でゲストの目に適う逸品があれば賞品をという、今のスタイルに落ち着いた経緯があります。

出品の数は毎回盛況というわけではありませんが、参加者の熱き想いが伝わる品々がメインホールの一角で光っています。開催に向けてのスタッフミーティングの時には、毎回もう終わり、という声も出のですが、それだと担当者の仕事なくなる！ので・・・(汗)、じゃなくてやはりもう清里ミーティングの中ではあって当然な企画、としての位置づけが出来ているのかもしれないな、と思えます。

さて、今回 20 周年の節目となる「なんてん」にはこちらの予想を上回る 14 点の出品を頂きました。ありがとうございます。まさか 20 周年だからといってこんなに集まるなんて思っていなかったというのが、担当者の偽らぬ思いですが(笑)、20 周年だからこそ皆さん積極的に参加してくれたのかなという気持ちもあります。今回、多数の参加者に対応するという会場の都合上、展示スペースがいつもの半分になってしまったのは、別にたかをくくっていた訳ではないのですが何でいつもスタッフの思惑と反比例して出品が集まるのかは不思議でなりません(爆)。大賑いなのはいいことなんですけどね。

さて今回のゲスト賞ですが、会長賞には滋賀県から参加の松田晃彦さん。イギリスの MX-5 オーナーズクラブのピンバッジとキーホルダーです。ライトウエイトの自家イギリスから三次での 20 周年ミーティングに参加した時に話が盛り上がり、記念に頂いたものとか。はるばる海を越えて同じクルマを愛する者同志がつながり、親交の輪を深めていくのはとても素晴らしいことだと思います。いい思い出ですよ。



次はアド・インター佐藤さんによる佐藤賞です。会場でもひとときわ目を引いた素敵なスワロフスキーの作品をみなさんにご覧になられましたでしょうか？あれは本当に手間と時間のかかる逸品です。そんな作品を出品してくださったのは神奈川県石川恵里さんです。いや～3000 個ですか。すごいです、根気と努力のたまものですね。それが作品に十分反映されているの一目瞭然だと誰もが思ったのではないのでしょうか。次回は 1 万個くらいで大作をお願いします。

そして元マツダの竹井さんによる竹井賞は、静岡県から参加の原千歳（はらちち）さん。次期オーナー決定！という何とも大胆な題名で展示していただいたのは、マイサンのお写真ですねえ。いやあ～こうして親子二代で乗り続けていこうという決意表明というか心構えというか、その辺をアピールしていたのが、お孫さんが可愛くしてしかたがないという竹井さんのハートを射抜いたようです。なんてん的？にはダークホースな受賞かもですが、これも運の良さかもしれません。



その他には清里弁当のかけ紙ペーパークラフトを本当に作っちゃった埼玉県の越田健太郎さん、エンジンブローさせてしまったエンジンヘッドを持ってきていただいた東京都の白川大輔さん、NA 用の灰皿を使ってドリンクホルダーを作った千葉県の吉野伸好さん(お米ありがとうございます)、iPhone にERFC ステッカーを貼ってクラブをPRしてくれている千葉県(本当は愛知県)の副島直樹さん、限りなくノーマルに近いシルバーのNA を写真で見せてくれた神奈川県の本山高裕さん、マツダ関係者の皆さんのサインが書き込まれたTシャツを展示してくれた長野県の鄭喆敏さん、毎度おなじみオリジナルクロックを持ち込んでくれた千葉県の駒場利明さん、カタログだけではなく、織り込みチラシも大切に保管して公開してくれた東京都の萩野祐仁さん、ユーノスマーク入りステアリングとキーホルダ



ーや ^{いにしえ}古の自慢ツアー時の写真を持って来てくれた神奈川県の芹田邦治さん。

そして毎回参加でお馴染みの東京都松浦友哉くんはサンドブラストで20周年大皿とワイングラスを持ち込んでくれました。

皆さん、本当にありがとうございます。本当にこうした色々な形でロードスターへの愛情が表現されていることがよくわかります。こんなに愛されているクルマって他には無いですよ。また愛するに足りるクルマであると改めて思い直させてくれました。

来年のことはまだ分かりませんが、こうしてさまざまな形で皆さんのロードスターへの愛情が示されていることをまた見せてください。スタッフ一同、展示スペースを十分に確保して(そうすると集まらないんですよえ・・・何故だろう)お待ちしております。



(ふじい)

『駐車場20年を思う』

今年もミーティングに参加頂きありがとうございました。

20周年ということもあって、例年よりだいぶ多くのロードスターが牧草地に並びました。

この牧草地に並ぶロードスター、今でこそ清里ミーティングの名物の一つ(?)になっていますが、最初からあそこを使っていたわけではないんですよ。

それまでがどうだったかと言うと、初回1990年から1996年までがケネディグラウンドというやまねミュージアムの近くにあるグラウンドです。今年ご参加頂いた方でケネディグラウンドでのミーティングをご存知の方はどれだけいらっしゃるのでしょうかねえ(遠い目)。

…で、1997年から2000年までが道路をはさんだ向かい側のP2駐車場、現在のP3駐車場に移ったのは2001年からですが、牧草地を使うようになったのは2002年からです。

最初は牧草地に入れるのに抵抗のある方が多いのではないかと心配したのですが、今ではすっかり定着したようで、開会間際に到着された方が砂利の駐車場(こっちが本来の駐車スペースなんです)に誘導されてがっかりされたと言うような話を耳にします。

次回はロードスターは全部牧草地に並べようかな…とか思ったりもしますがさてどうなりますやら。

(わだ)



『駐車場ロードスターを思う』

駐車場担当の前田です。MTG ご参加ありがとうございました。今年の清里はホントにあったかかったですね。地球温暖化の影響かと心配しつつも、駐車場担当としては「暖かい清里」は素直にうれしかったです。「任務」としては皆さんの車を見守るわけですが、今年是一般のお客さんの「滞在時間」が長かった気がします。グループで家族で恋人同士で、一台一台うんちくを語りながら、外から中からじっくりと見て廻る人が多かったです。わたし的には、ひとりでも多くの人に車を見てもらって「ロードスターに乗ってみようかな」と思う人が何人かでも現れてくれることを祈りながら見守っていたことは言うまでもありません。清里ミーティングに参加されたみなさんの車とその役割を担っているんですよ。

(まえだ)

『スワップミート&ERFCショップ スタッフ日記』

前半の部が終わり、兼務のビデオ撮影を一旦中止。お弁当をさっさと済ませて、1時からの開店に間に合わせようと思っていると、じわじわとお客さんが集まってくる。

「スワップはもういいですか?」「並んでいいですか?」との声がかかる。いくつかの出品物に人気が集まる気配。ご飯をかきこんでいると「もういいですかあ?」と催促が。人垣ができています。でもまだ3分前。

ちょうど1時に、スタッフ兼出品者のK坂氏の仲介



により、じゃんけんで購入者を決めることになり、会場はヒートアップ！

一方、ERFCグッズのほうは、今年は非常連の方が多かったためか安すぎたためか、3枚1000円のTシャツ在庫品が飛ぶように売れる一方で、例年人気のステッカーはあまり出ない。みんな車を変えてない証明かな？

スタッフ2人で対処してるのに、支払いの順番待ちができるほどの混雑ぶり。「いや～たいへんだったなあ・・・」と、やっと人が引けて、ぐったりして時計を見ると、まだ1時15分。

わずか15分間の激務でした。

次回からは、スタッフのお弁当は1時15分からにしますので、皆さん、またよろしくおねがいします。

追伸：スタッフ募集中です！

(かたかい)

「スワップミート スタッフ日記 其の二」

20周年だからか、初清里の方が多からか、はたまた温かかったからか・・・

寒かった去年と違い、今年は大盛況！！

OPEN前から「これ下さい！」「これナンゴ！？」との声多数。「予約できますか？」との声にインサイダー禁止令を出しつつスタッフK貝氏とお弁当をかき込む。

13時。「お待たせしましたあ～スワップ開始しまあ～す」と同時に数点の商品に買い手が集中し大騒ぎ！じゃんけん大会に。



ああ～「じゃんけん大魔王が降臨してくれれば・・・」などと考えてると今度は購入者の支払いの列が・・・。

少し落ち着いて時計を見るとまだ15分しか経ってない。

いや～グッタリでした。

そんな今年の日玉商品は「EUNOS 純正ダイキャストモデル約1/20」NAデビュー当時に関係者に配られた名品。一部ユーザーにも販売されたらしいのですが詳細不明。その他にもユーノス純正品多数！

エアロカバー、リアウインド保護カバー、等、即完売状態でした。

後半には、本日のゲスト「竹井氏」による飛び入りレアTシャツのプレゼント提供が!!!

「10周年スタッフジャンパーは最後に会場プレゼントに提供するけえ、他はここにおるみんなで分ければええけのお～」とお言葉。

その場に居合わせたお客さん拍手喝采大興奮超ラッキー！！ということで、またもや大じゃんけん大会で大盛り上がり・・・

竹井さん有難うございました。

来年はドタバタにならないよう頑張りますので宜しくです。

皆さんの来店、出店、お待ちしております。

(コスケ)

「おみやげくぼり」

受け付けでおみやげくぼりをしていた前田虎太郎です。ぼくは、今までお母さんといっしょにおみやげをくぼっていたけど、今年初めてそれを一人でくぼりました。お客さんに「ありがとう」とか言ってもらってうれしかったです。ぼくもがんばって「これおみやげです」と元気に言ってきました。来年は、今年よりも大きな声でおはようございます！これおみやげです！と言ってわたしたいです。



それからメインホールの入り口にさげてあった、てるてるぼうずは、ぼくが、作りました。太陽やロードスターに20周年も、かきました。またアイデアをしばりだして作りたいです。 おわり

(こたろう)

「清里弁当」

「今年、急に来なかった！っていう人いる？その人が雨男じゃないの??」とか「もしかしたら今年「清里ミーティングデビュー」した人に強烈なパワーの晴れ男、晴れ女の方がいたんじゃない？」なんて茶目っ気たっぷりに話し掛けてくださった方が何人かいらっしゃいましたが、今年の清里は、そんな想像を誘うほどポカポカと暖かい天候の元での開催となりました。ポカポカ効果で、お昼時は駐車場で愛車を眺めながら、または仲間同士でロードスタ談議に花を咲かせながら、ランチタイムのひと時を太陽の下で楽しまれた方が多かったように思います。

今年のお弁当はいかがだったでしょうか？お口にありましたか？「20周年という事で紅白に色づけされた蓮根がお祝いムードを醸し出していましたね」と今年のお弁当の感想をいただいたり、「何年前だったかなあ、竹籠に入ったお弁当が良かったね」と言葉をかけていただいて、懐かしく思い起こしたりさせていただきました。

私も食事を済ませた後、駐車場に降りてみました。するとお弁当のごみ箱がいっぱいになってあふれんばかり！「そうだ！これだけよい天気だったのだから駐車場の方にゴミ箱をもっと多く配置すればよかった～」と反省。いまさら後の祭りなのですが、本当に皆さん、ゴメンナサイ。今回の失敗を挽回するべく、次回は天候に合わせたゴミ箱の配置をしたいと思います。



(さっちゃん)

「幻の企画復活の裏には・・・」 あの企画復活の陰には嬉々として暗躍する影が・・・

ご参加の皆様、今年もはるばる清里までおいで頂きありがとうございました。幸い天候に恵まれ、良い一日をお楽しみいただけたかと存じます。

さて、初期の頃の清里ミーティングには、ある名物がありました。午後に駐車場で行われる「自慢ツアー」です。ツアコンはご存知「じゃんけん大王 (のシモベ)」つのやまけいいち氏。彼が軽妙トークと鋭いツッコミで、我 (のクルマ) こそはと意気ごむ参加者の方を皆さんにご紹介するイベントです。しかし近年は実施されていませんでした。

実はスタッフの間でも惜しむ声は多かったのですが、じゃんけん大王様が「ワシのシモベを横取りするとは何事じゃ！」と激怒されたために、実施を見送らざるを得なかったのです。別のスタッフがやればいいのか、と言われそうですが、残念ながら適任者不在・・・。「自慢ツアー」は長いこと幻の企画になっておりました。

しかし今年には 20 周年。節目の年です。何とか復活できないものか・・・ミーティング前夜、急遽極秘の打ち合わせが行われました。もちろん本人とじゃんけん大王様には絶対に知られてはなりません。そのためスタッフの中でも知る者はごく少数に限りしました。気配を消し、検討を重ね・・・自慢ツアー復活大作戦がそと動きはじめました。

一夜明けてミーティング当日。ミッションは更に深く静かに、しかし大勢の方の協力を得て進んでいきます。「じゃんけん大魔王」こと広島 J58G の佐竹さんを筆頭に、参加者でつものやま氏の友人でもある大橋さんや、果てはゲストの福田さんまで巻き込んで、作戦決行の時を待ちました。

そして・・・ついにその時がやってきました。自車のシートに福田さんが座って下さったことに感激したつものやま氏が「これは自慢だ！」と声を上げたその瞬間、「自慢と言えよ！」と佐竹さんが高々と勝利の旗を掲げ、自慢ツアーは無有を言わず見事復活！たちまち集まる参加者の方々の背後で、グリコの看板さながらに両手を上げて駆け寄ったスタッフたちが、ハイタッチで作戦成功を喜び合っていました。

ツアコン本人はといえば突然の出来事のため、最初こそトークがややぎこちなかったようですが、参加者の方々の熱気に乗せられ次第になめらかに。皆さん、お楽しみいただけただしょうか？

とはいえ、これはあくまでも今回限りの復活です。というのは、その後「今年は妙にシモベが疲れておった・・・それゆえ調子が出なかったぞよ！負けるはずのない相手に負けてしまったのではないか！」とじゃんけん大王様からイチャモン、もとい苦情が寄せられたのです。しかし参加された皆様の記憶の片隅に残していただけるなら、大王様のご機嫌取りなぞ何のその！今日も頑張るスタッフ一同なのでした。



(受付係 兼 極秘大作戦アドバイザー つものやまけいこ)

「.....」 そしてその瞬間をあの方はどう迎えたのが・・・

9 月に三次で 20 周年イベントが開かれた、ちょうどその前日に、自分のロードスターのシートをチューニングしてもらったんです。

自分の車は NA6CE 最後の限定車 S リミテッド。その赤い革シートを今後も快適に使いたい、そんなことを思っていたら、今回のミーティングのゲストでもある福田さんの V スペシャルのシートが、外の革はそのままで中身だけチューニングされたとういことを、数年前の清里でお伺いしました。自分のクルマにもぜひ施工してもらいたい、できればその状態で 20 周年の三次に・・・と関係各位に相当無理をお願いして、今年実現できたのです。

それはもう、数年がかりの念願の！だったわけです。

そして当然、そのご報告を清里で福田さんにしなくては！と、思って今年の清里にのぞみました。

伏線はそんなところに張られていた、、、いや、自分で張っていたのですね・・・やれやれ。

そして、唐突にその時はやってきました。

お弁当も食べ終わって、良いお天気の中に並ぶロードスターを眺めていたところ、今回のシートチューニング一切を手配して下さった広島の大魔王こと佐竹氏が

「あのシート、福田さんにも座ってもらわんとねえ」

なんていいながら、その福田さんご本人と共に私の車の前に立っているのです。もちろん異論なんかあるわけなく、心から喜んで、どうぞどうぞって。

福田さんも

「お、これもなかなかいいねえ」

「ペダルを踏み込んだときに、ちゃんと腰を押し返してくれるんだよね」

なんて感じでお話してくださって・・・

もうその時の私の顔を間違っって写真で撮ってたら捨ててください！ってくらいうれしそうな顔してたと思いますよ。

そんなやり取りをしばし眺めていた佐竹さんが、なんだか急に変なこと言い出したのです。

「福田さんにシートに座ってもらって、それってすごい自慢だよな？」

「うん、そりゃもう」

「自慢だよな？」

「うん」

・・・

この瞬間に気づきました。

だまされた！とまでは思わなかったのだけど、もう引つ込むわけにはいかないぞって。気持ちのアクセルを踏み込んで・・・

それにしても何年ぶりだったろう？自慢ツアー。駐車場を牧草地に移してからは一度もやってないはずですよ。



実際にどうだったのか、残念ながら自分では確認できないので実に相当あれこれ心配なのですが、、皆さん、どうでした？

なんせ、突然のことだったので、最初は相当とっちらかってしまったのではないのでしょうか？それでも、一緒に回っていただいた皆さん、特に福田さんと竹井さんのお二方の味のある反応にずいぶん助けていただきながら、何とか自薦他薦の皆さんの愛車を数台ではありますが、それなりに「いじり倒して」回れたのではないかと思います。

まあ、なんせ準備も何も（私だけは）していなかったので、その辺はお許しを。

それにしても驚きました。だいたい、佐竹さんに何か言われて逆らえる ERFC 関係者がいます？（あ、一人いたか・・・）

しかも、福田さんにまでお手伝いいただいて・・・ありがたいことです。

それでも皆さんにちょっとした間でも喜んでもらえたのでしたらよいのですが、でも、もう同じ手は喰わないからね！と、強く強く心に刻んだ秋の清里でした。

あ、もちろん、この衝撃が後々にも影響を与えたなんて、言いませんよ。

あれはあれ、これはこれ、ですから。（苦笑）

では、アディオス！

（つのやま@ツアコン）

「ほっと、一息」

会場隅っこにて、癒しをかもしておりましたコーヒー担当です。
今年は天気も良く（清里ミーティングは天気ハズレなし！？）
暖かかったですね。

皆さんいろいろな所からご来場いただき、ありがとうございます。
す。

ERFCからのささやかな感謝の味はいかがでしたでしょうか？
インスタントの粉にドリップ珈琲を入れてしまっていて驚いていた参加者様！

説明不足をお許してください。

でも、ちょっと楽しい…(笑)

ちょっと薄めの珈琲を飲むとき、清里ミーティングを思い出してください。

「来年も行ってみるかー」ってネ!?



(Kanakano)

駐車場のサポートスタッフとしてお手伝いいただいたお二人からもコメントをもらいました。

「通過点と目標とそして…?!」

駐車場他手伝いの長谷川です。

20 回目を向えた清里MTを祝うように、朝から綺麗に富士山も見える良い天気にも恵まれ、朝一番の駐車場準備から気持ちの良いスタートでした。

そのおかげか？朝から皆さんも気合が入っていたようで・・・会場設営中に知り合いから『着いたのだけど、開場はまだだね？』と電話があったり、周辺で時間待ちをする人もちらほら・・・寝起きでローテンションだった自分も徐々にスイッチが入っていききました(笑)

心配されていた朝の準備もスムーズに済ませ、いざ開場！

少しばたついたけど(汗)大きなトラブルもなく無事に駐車完了でき、参加者の皆さんありがとうございました。

ミーティングは、といえば、今回ロードスター&清里MT20周年という事もあり、自分も直前まで昔の写真をひっくり返して、いつ頃から自分は清里MTに参加しはじめたのか？とか、古いERFC会報を読みかえしてみたり、自分とロードスター、ミーティングとの関わり(清里MTがはじめてのミーティング参加だった)など、昔の想いをふり返っての参加となりました。

そして、ゲストの方々のお話も開発初期のお話をして下さったり、ユーノス設立の苦労話など聞けて、何か、自分の中で、タイムスリップしたかのような不思議な気持ちで一日が過ぎていったようでした。

10周年の時は通過点、20周年はそこまで乗るぞ！！と目標、さて、30周年は？

20周年でこんなにも楽しい刻が過ごせたのだから、次の30周年まではのんびりいきましょかね。自分も、ロードスターもくたびれないように(笑)



(はせがわ)

「半分スタッフは家族の期待を背負う(?)」

そえぢま@千葉です。

いつもは名古屋近郊からの参加ですが、今年は千葉から一人参加しました。

ということで、御殿場経由の往路でしたが、富士山がよく見えました。感動しました。

こうも簡単に富士山を拝められるのは羨ましいなと思いました。関東組のみなさんはズルい(笑)！

さて、当日は駐車場係を受け持ちましたが、誘導がへたくそでしたね。

列が波打ってしまいました。皆様ご迷惑をおかけいたしました。

清里で眺める「ロードスターだらけの駐車場」は見飽きることのない不思議な魅力があります。

駐車場内から見渡したり、列を眺めるのも良いですが、遠くから眺めるのも乙です。

ホールのデッキから遠めに見下ろすのもお気に入りです。

20年経っても「眺めているだけでもめっちゃ楽しい」なんて凄いことです。



ということで「半分スタッフ」だった今年の清里でしたが、じゃんけんでワインを頂いてしまいました。

今まで一度も勝ち残ったことがなかったので「どうせ今年も・・・」と思っていたら勝っちゃいました。

ワインは単身赴任の寂しい夕食に・・・なんてことはせず、玄関に飾っています。

ロードスターは実家に置いてきちゃったので朝晩ボトルを眺めています。

お土産のTシャツはハンガーに掛けて部屋に飾っています。

そんな単身赴任2ヶ月目の寂しい晩秋です(苦笑)。



そそ、小2の長男が清里に行けなかったことを猛烈に残念がっていました。

どうやら私以上にじゃんけんを楽しみにしていたようです。

来年は家族4人で参加したいです。

その時は「じゃんけんに勝てない4人家族」を指さして笑ってやってください。

また来年お会いしましょう！

(そえぢま)

「清里ミーティングにかかわるすべての皆様に感謝」～編集後記に代えて～

そんなわけで実行委員長の豆蔵です。まずはERFC清里ミーティングにご参加の皆様、ありがとうございました。

石の上にも3年。桃栗3年柿8年。柚子は9年で成り下がる。梨の馬鹿めは18年・・・いまやそれも越えて『20年』ですよ。ERFCがユーノスロードスター発売直後の1989年秋に自動車雑誌『NAVI』の紙面上の企画で立ち上げられ、そこに入会した会員有志により第1回清里ミーティングが開催されたのが1年後の1990年秋。その後、イベントエリアや規模はいくらか変化しつつも、基本的には車のイベントでありながらツーリングやジムカーナなど走る要素のまったくない座学中心の『文科系ミーティング』として開催されてきました。

9月に三次で行われた20周年ミーティングはもちろん、他の何処のロードスターイベントと比較しても非常に地味なイベントではありますが、マツダをはじめとして関係各位のご協力により毎年ユーノス/マツダロードスターの開発に関わる現役の、もしくはOBの皆様をゲストに迎えて他ではなかなか得られない話を聞けるイベントとして楽しみにして下さる皆さんの声もあり、20回目の節目を迎えることができました。本当にありがとうございます。

ERFC 清里ミーティングはその間、毎年いろんな人のご協力で開催されてきました。小さな時からご両親に連れられて来ていたお子さんが、気付けば免許を取れる年齢になっているのを思うと感慨深いものがありますね。

さて、節目の20回目とは言っても基本的にはいつも通りに自然体で対応するのが私たちERFCのやり方。今年も例年通りさらりと肩の力の抜けたスタイルで開催いたしました。とは言えやはり20回目、そしてロードスター誕生20周年と言うこともあり、あけてみれば例年にも増して多くの皆様にご参加いただきました。特に初参加の方や「数年(十数年)ぶりに参加しました」としてきた人が多かったのが今年の特徴でした。遠くは沖縄(!)からの参加もあり募集締切りを前倒しするほどとなりました。

それだけ大入りだっただけに今回は特にメインホールの席の数などが心配されていましたが、例年より若干足元を狭くして来場者の皆さんには窮屈な思いをさせてしまいました。すいません。今回はメインゲストにお迎えした福田さんや竹井さんに20年以上前のロードスター開発秘話をその基本的な形を生み出したデザイナーの立場からお話しいただきました。なかなか普段は聞けないようなデザインチームによるアイデア出しからの変遷とそこにかかわってきた皆さんのお話や、決定したデザインを十二分な形で世に出してくれることになる実車の開発部門へバトンタッチするまでの話・・・。実はイベントが始まるまではすでに月日を経ているからなあ・・・、とおっしゃっていた福田さん自身も話している傍から当時の状況がどんどん思い出されてきたのか参加者の熱気に後押しされたのか、お話は留まることを知らず(笑)。結局、要所で入る竹井さんのフォローと共に話はおよそ三十分も予定時間を上回ることになりました。その後の佐藤さんのお話もいつものゲストとはちょっと視点の違ったお話でその一つ一つの話が興味深かったですね。こういうお話が聞けるのも清里ミーティングならではの楽しみではないでしょうか。こうしてなかなか日頃は聞けない話を知ることでロードスターのことをより深く楽しめるようになってもらえたら嬉しいです。

さて、お昼休みとすでに書かれているように今や伝説と化していた「ロードスター自慢ツアー～復活編～」を挿んで、その後予めスケジュール通り、メインホールでは恒例の当たり発表やら「なん展」の受賞者発表やら・・・。そして降臨してもらえるか定かではないと噂された(^_^;)じゃんけん大王も無事に降臨されたものの、なぜか例年のような常連をなぎ倒す力が薄まってしまっていたように見えたのは連敗組の20周年に掛けた気合か、それとも「シモベ」が大王降臨前に大仕事をするはめになってたおかげですっかりいつもの毒気が抜けてしまっていたのか。(笑)。

ともあれ、イベントも終了してひとりひとりをお送りする時に返してもらえる笑顔が我々スタッフには一番の慰めでございます。まさにそれだけで今年もやってよかったな、と思わせてもらえます。

さてこうして無事に成人式(?)を終ることでできたERFC清里ミーティング。20年のうちにERFCと言うクラブの立場や形もすっかり変わり・・・いや、すでにクラブと言う名は形骸化してますよね。でも、こうして続けてきただけでもロードスターを通じてよほどいろんなつながりを持つことができ、またそういうつながりを作る一助になったのではないのでしょうか。

はたして次の10年でERFCや清里ミーティングはどう変わるのか、それとも変わらないのか。

今は実行委員長をしている私自身も第2回に参加したときは単なる一参加者であり、まさか自分がこのイベントのスタッフになるとは思っていませんでしたからねえ。やっぱり次の10年でまたなにがどう変わっているのかなんて想像もつきませんね。とりあえず変わらないのは私の愛車。おかげさまで10月末には納車から無事に20周年を迎えました。さて、次の10年は？！

ではみなさん。とりあえずはまた次回。清里でお会いしましょう。

(ERFC 清里ミーティング実行委員長 兼 編集担当：まめぞう)



ERFC Newsletter

ユーノスロードスターファンクラブ通信

2009 Vol.3

2009年12月7日発行

EUNOS ROADSTER FAN CLUB 事務局；埼玉県上尾市井戸木4-22-22 角山方
E-MAIL: info@erfc.sakura.ne.jp URL: http://erfc.sakura.ne.jp